



まくべつ

わたしたちのまち

(昭和61年2月1日現在)

人口	21,643	(+12)
男	10,629	(+11)
女	11,014	(+1)
世帯数	6,594	(+4)
一人のうごき(1月中)	—	
転入	47人	転出 43人
出生	20人	死亡 12人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



彫り続けて10年、作品は100点以上

河瀬勝子さん(65歳・旭町)は木彫りを始めて10年になります。町内の木彫り愛好者のグループである「かつらぎ会」の創立時(昭和52年)から、会長として会を支えてきました。

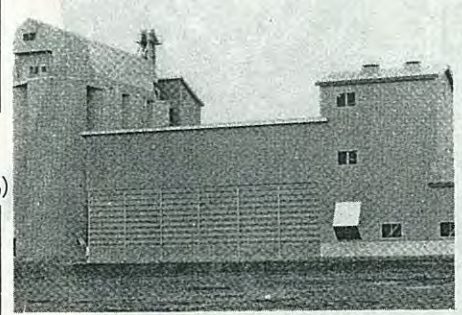
「これまで100点以上の作品を作りましたが、満足にできたものは一つもありませんね」と木彫りの難しさを語っていました。

特集 本年度の町づくりはどうか進んだか……②

産業の振興

昭和六十年度も後わずかになりました。町づくりはどうか進んだか……。今月号では「産業の振興」「教育施設の整備と社会教育の充実」についてお知らせいたします。

幕別農協は小麦乾燥機一基、コシバイン二台、コンントッパ二台、コーンハーベスター二台を導入しました。札内農協は小麦の乾燥・保管施設の設置とコ



札内農協の小麦乾燥・保管施設

は軍岡にある既存の乾燥施設に設置されました。札内農協の乾燥・保管施設は依田にある既存の施設に併設されました。

事業費は総額で四億五千六百七十一万円で、国から二億二千八百三十五万円の補助金が交付されました。

◇道営土地改良事業
農業生産に適するように、耕地の改良、農用地の規模拡大、農村道路網の整備などの基礎的条件を整備するために、北海道が事業主体となって行いました。五十四年から始まった軍岡北地区明きよ排水事業が本年度で完了

農業 大型の施設と機械を導入

性の高い農業を確立するため、大型施設・機械の導入や土地基盤の整備などを積極的に進めました。◇新地域農業生産総合振興対策事業

幕別農協と札内農協が事業主体です。能率的な生産技術を導入し、地域全体の農業生産力の向上を図

町の基幹産業は農業です。昨年は、農家の方々の努力と天候にも恵まれ、二年続きの豊作の秋を迎えることができました。町では、農業生産の安定と生産

表1 本年度行われた道営土地改良事業

(事業主体が北海道)

事業名	全体計画	事業期間	総事業費	昭和60年度	
				事業費	事業内容
襟内地区 細地帯総合土地改良事業	五位高台線ほか3路線改良・舗装 L=11,692m 明きよ2,510m 暗きよ380ha 区画177ha	52~63	1,904,000	180,000	改L=530m 舗L=1,750m 暗きよ26ha 区画整理6ha
襟内第2地区	美川西線ほか4路線改良・舗装 L=22,112m 明きよ17,870m 暗きよ434ha 区画156ha 客土210ha	53~65	3,880,000	272,000	改L=1,760m 舗L=260m 明きよ350m 暗きよ38ha 区画整理8.2ha
新川地区	緑町明野線ほか3路線改良・舗装 L=12,813m 明きよ6,035m 暗きよ323ha 客土124ha	56~66	1,687,000	110,000	改L=1,050m 明きよ714m 暗きよ24.5ha
新川第2地区	新川32号線ほか2路線改良・舗装 L=9,130m 明きよ5,099m 暗きよ395ha 客土153ha	56~66	1,606,000	110,000	橋りょう1基 明きよ726m 暗きよ35.5ha
駒島地区	美川駒島線ほか3路線改良・舗装 L=15,061m 明きよ5,195m 暗きよ466ha 区画178ha	57~68	2,263,000	100,000	明きよ500m 暗きよ49.3ha
駒島東地区	中里駒島線ほか3路線改良・舗装 L=11,709m 明きよ9,832m 暗きよ494ha	58~69	2,353,000	80,000	明きよ420m 暗きよ37.1ha
西襟内2期地区 農免農道整備事業	猿別川西線改良・舗装 L=8,579m W=5.5m	53~62	989,960	149,940	改L=1,183m 舗L=1,870m
明倫地区	襟内古舞線改良・舗装 L=2,100m W=5.5m	58~62	253,000	59,950	改L=710m
大豊第2地区 開拓地農道整備事業	明野25号線ほか1路線改良・舗装 L=4,600m W=5.5m	54~61	553,730	71,930	舗L=1,620m
軍岡北地区 明きよ排水事業	排水路10,760m	54~60	735,960	63,500	排水路991m
十勝中央地区広域 農道整備事業	千住13号線ほか1路線改良・舗装 L=15,360m W=6m 中央大橋772m	56~65	9,062,518	416,439	橋りょう下部 上部工事

(注) L=道路の長さ W=道路の幅

表2 本年度行われた団体営農道・土地改良事業

(事業主体が町、農協)

事業名	全体計画	事業主体	事業期間	総事業費	昭和60年度	
					事業費	事業内容
大豊地区 土地改良 総合整備事業	明野25号線改良・舗装 L=2,300m W=5.5m	幕別農協	55~63	316,600	40,580	改L=390m
上稲志別第2地区	日新線舗装 L=2,029m W=5.5m	札内農協	59~61	166,944	83,606	舗L=440m 改L=2,420m
相川地区 農道整備事業	相川6線改良・舗装 L=1,657m W=5.5m	町	56~63	193,260	34,800	改L=637m
明野東地区	明野8線改良・舗装 L=2,058m W=5.5m	〃	55~60	221,940	26,440	舗L=674m
途別第2地区 排水対策特別事業	明きよ449m 暗きよ4.8ha	〃	60	41,209	41,209	明きよ449m 暗きよ4.8ha

(注) L=道路の長さ W=道路の幅

しました。

また、本年度行われた主な事業は表一のとおりです。

◇団体営農道・土地改良事業

町や農協が事業主体となって行う土地改良事業です。五十五年から始まった明野東地区農道整備事業と単年度で行われた途別第二地区排水対策特別事業が完了しました。本年度行われた主な事業は、表一のとおりです。

◇地域野菜生産団地育成事業

町の単独事業として行っています。野菜農家(五戸以上の集団)が作業の共同化、生産物の一元集荷などを実施する場合、五百万円をお貸ししています。本年度は、古舞北野菜生産組合に貸し付けをしました。貸付期間は五年以内で、無利子となっています。

◇農業後継者対策

農村花嫁の確保のために、名古屋女性との交流会(一人参加)や雑誌への広告掲載、キャブテンシテムを利用した花嫁募集を行いました。また、農村青年の海外研修視察への補助(二人当たり十五万円)を行い、優れた担い手の育成に努めました。

◇農村総合整備モデル事業

五十六年から十カ年計画で、農村地帯の環境施設や生産基盤などの整備を進めています。本年度は途別三号線の改良(五百坪)、依田六線の舗装(二百三十七坪)と糠内地区に集落排水を設置しました。

町牧の機能充実 21haを草地改良

畜産

酪農経営は、生乳の計画生産や乳価の低迷など、厳しい環境にあります。

このため、乳牛の産乳能力の向上や生産コストの低減に努め、飼料自給率を向上させることが基本になります。

◇町営育成牧場の整備

酪農家の皆さんに有効に利用していただくために、五十八年度から施設整備を進めています。本年度は、二十一・四畝の草地改良と防護さく、追い込みさくの整備などを一千八百四十六万円で行い、機能の充実を図りました。

◇綿羊の飼育

繁殖用綿羊十頭と種綿羊一頭を町営育成牧場で飼育しています。



町営牧場で飼育されている綿羊

綿羊はサフォーク種で、町営育成牧場の観光資源としてや、肉の販

売など多目的に利用される予定です。繁殖により頭数が増えれば、将来的には農家への譲渡も計画しています。

◇肉用牛の導入

肉用牛資源の拡大と経営の安定向上を図るため、道農業開発公社から雌の繁殖用肉牛を導入し、畜産農家へ貸し付けをします。本年度は四十四頭を導入し、九戸の畜産農家へ貸し付けをしました。

自然を守る町有林 5haを造成

林業

恩恵を与えてくれます。町では、自然を守り将来の大きな財産ともなる町有林の造成などを進めました。

◇町有林の造成

町有林は、一千二百二十五畝あり、毎年造成事業を行っています。本年度は、一昨年に地ごしらえをした五畝にトドマツの植栽を行いました。また五畝の地ごしらえも行いました。

◇町森林組合への補助

植栽、地ごしらえなど、民有林振興の指導的役割の大きい町森林組合へ、七十万円の助成をしまし

た。

◇除間伐推進事業への補助

この事業は町の単独事業で、民有林の振興と造林意欲の向上を図っています。本年度は、カラマツやトドマツの除間伐四十畝に四十万円の補助をしました。

第8回産業まつりに1万人の人出

観光開発

れました。

◇町観光協会への補助

町からの補助金は、三百七十万円です。「産業まつり」「冬まつり」などの実施、各種事業の後援や協賛をしています。本年度行われた主なイベントは、次のとおりです。

◎第一回明野ヶ丘公園芝桜まつり

満開の芝桜を見ながら、初夏の一日を楽しんでもらおうと、昨年六月九日に明野ヶ丘公園で開かれました。ビール早飲み競争やもちまきなどの催しに約千人の町民が繰り出しました。

◎サマーカーニバル85

ジャンボカレライス、打ち上げ花火、猿別川イカダ下りなどの催しが、昨年七月二十七、二十八日の両日、運動公園と猿別川一帯

で行われました。

◎第八回産業まつり

昨年の十月六日に、依田公園一帯で開かれました。秋の味覚と多彩なアトラクションを楽しもうという家族連れなど一万人の人出がありました。

◎第四回冬まつり

二月八、九日の両日、運動公園で開かれました。大小の氷雪像が立ち並び、多彩なアトラクションが繰り広げられ、たくさんの人出がありました。

商工会への補助で 地域経済の活性化

商工業

「特産品開発研究費補助制度」などにより、地場産品の掘り起こしによる、特産品開発のための環境づくりを進めました。また町商工会への補助など地域経済の活性化に努めました。

◇特産品開発の研究活動補助

特産品の開発や調査研究に要する経費に対して補助する制度です。補助金は一件について五万円です。

◇町商工会への補助

商工会が行う経営改善普及事業(経営の合理化・改善、経理・金融技術の向上などの相談指導)や一般事業(総合振興対策、商業・工業振興対策、サービス業振興対策)、管理運営費などに一千四百八万円の補助を行いました。

教育施設の整備 社会教育の充実

駒島小学校を 全面改築

学校教育

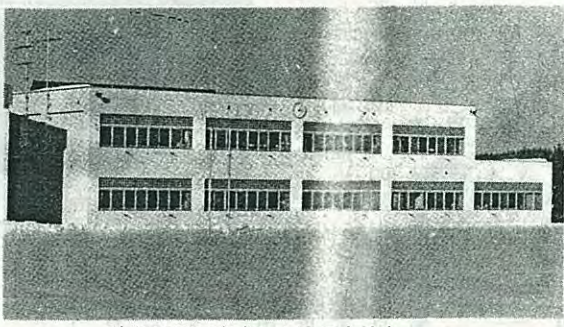
るための環境づくりを進めました。

◆駒島小学校を全面改築

駒島小学校の旧校舎は、昭和二年に建築されました。その後四回の増改築が行われましたが、厳寒期になると、ストーブをたいても教室が暖まらないことや、水道が凍結して使えないなど老朽化が著しいため、体育館を含めて、全面改築をしました。

新校舎は、普通教室四、特別教室四のほか、職員室、校長室、保健室などがあり、鉄筋コンクリート造り一部二階建てです。面積は八百九十八平方メートルです。また新体

町内では、十六の小中学校で三千二百九十八人の子供たちが勉強しています。子供たちに快適な環境で勉強してもらうための施設整備や、教育の充実を図るため、



昨年12月に完成した駒島小学校

◆札内東中学校に体育館を建設

昨年四月に開校した札内東中学校に体育館を建設しました。校舎の北側に建てられた新体育館は、鉄筋コンクリート造りで、面積は一千二百三十七平方メートルです。学校開

放事業で地域の皆さんが利用しやすいようにと、体育館専用の玄関とトイレが付いています。事業費は二億二千九百六十六万円で、昨年の十月末に完成しました。

◆糠内中学校にテニスコート新設

駒島中学校を統合して、生徒数の増えた糠内中学校にテニスコート一面を新設しました。事業費は三百六十万円です。

◆学校および教職員住宅補修工事

学校施設の維持・補修や環境整備をしました。また、教職員住宅の窓のアルミサッシや網戸の取り付けも年次計画で進めました。事業費は二千五百万円です。

◆教職員住宅譲渡代金

債務負担行為で建設した教職員住宅(昭和四十一年から五十九年までの建設分)の借入金返済を行いました。本年度の償還金額は六千二百七十七万円です。

◆学校教育振興および管理用予算

教材、教具の充実を図るための教育振興費は、総額二千六百六十

六万六千円。学校経営の管理、維持費は、総額一億一千六百八十六万四千円になる見込みです。

◆スクールバス運行委託料
学校統合(五十年年度)大豊小、西猿別小、豊岡小、新和中)による幕別小・中学校の遠距離通学児童、生徒のスクールバス(三路線)豊岡線、大豊線、新和線)を民間業者に委託しています。委託料は一千八百九十九万円です。

◆スクールバス停留所の設置
駒島中学校が糠内中学校に統合

●主な学校教育振興予算 総額2,666万6千円

項目	内容	見込額
教材用学校配分	教材、クラブ用消耗品費	3,435
教材備品購入費	図書、教育機器	21,131
公開研究会補助	幕別小、札内南小、札内北小	600
スケートリンク造成交付金	学校リンク造成費	1,500

●主な学校管理用予算 総額1億1,686万4千円

項目	内容	見込額
管理用学校配分	管理用消耗品費、印刷費、通信費	14,198
燃料および光熱水費	燃料費、電気料、水道料	73,551
学校管理委託料	小学校3校、中学校3校の管理委託	21,864
管理備品購入費	学校配分、児童・生徒用机、いす	1,000
学校管理運営交付金	教職員図書費、研究費	6,251

されて、スクールバスの路線に新しく駒島線が加わりました。雨や雪から生徒を守るために、十力所に停留所を設置しました。

◆幕別町奨学資金
経済的な理由で修学困難な生徒のため、町が独自に設けた制度です。高校、国立高等専門学校に在学の二十人へ、月額四千五百円を支給しています。

◆遠距離通学補助制度
小学生は片道四キロ以上、中学生は同じく六キロ以上の距離を通学する児童(四十六人)、生徒

(三十四人)に補助をしています。補助額は六十六万円です。

就園費の補助で 経済的負担の軽減

幼児教育

人間形成の基礎を培う幼児教育は極めて重要です。幕別町には、私立幕別幼稚園と町立わかば幼稚園があり、幼児期における心身の発達を助ける

より良い教育を進めています。

◇私立幼稚園入園料・保育料補助

私立幼稚園に通うお子さんの父兄に対して、経済的負担の軽減を図るため、入園料(五千円)と保育料(所得により異なる)を補助しています。本年度の補助額は見込みで百三十五万円になります。

◇幼稚園就園奨励費補助

私立・公立幼稚園に通うお子さ



元気に学ぶ園児たち(町立わかば幼稚園)

んの父兄に対し、幼稚園設置者が保育料などを所得の状況に応じて減免する場合に、当該幼稚園へ補助します。(公立幼稚園の場合は父兄へ補助)本年度の補助額は見込みで六百五十八万円になります。

札幌交響楽団の コンサートを実施

社会教育

社会教育は、私たちの心の中にみずみずしい潤いを持たせてくれます。生涯を通じて人間として豊かに暮らすため、学級・講座の開設、芸術公演などを進めました。また、各種社会教育関係団体へ補助金を交付しました。

◇家庭教育学級

児童・生徒の両親を対象に開設しています。「しつけ」「性教育」「両親の役割」など親の知識や態度を勉強しています。学習時間は年間二十時間で、本年度は八学級を開設しています。

◇婦人学級

主婦が広い視野を持って、家庭づくりや地域で活躍していただくための学習をしています。学習内容は、一般教養、健康、趣味など家庭生活や社会生活に関するものになっています。本年度の開設学級は三学級(幕別地区一、札内地区二)で、年間の学習時間は二十時間です。

◇高齢者学級(しらかば大学)

お年寄りが「生きがい」のある生活を送るための学習の場です。六十五歳以上のかたが対象で、陶芸部、手芸部、園芸部などで六十一人が学んでいます。

◇学童保育所

家庭において何かの理由で保護を受けられない小学一・二年生を対象に、午後一時から午後五時まで、お子さんをお預りしています。現在、町内三カ所で開設しています。

◇芸術公演

小・中学生のための札幌交響楽



多くの聴衆を魅了した札幌コンサート

団のコンサートを昨年の七月十四日に開催しました。また、町民芸術劇場が設立され、同劇場の主催により、ハーモニカアンサンブルの公演が昨年の九月三十日に開催

されました。

◇図書購入

町民会館と札内福祉センターにそれぞれ図書室があります。本年度も百万円で図書を購入手、蔵書の充実を図りました。

◇社会教育関係団体への補助

社会教育活動を円滑に推進するために、町内にはさまざまな団体があります。それらの団体へ補助金を交付しました。補助額は総額で百八十四万円です。

7校の体育館を 地域に開放

社会体育

町民のスポーツ熱は、年々高まっています。農業者トレーニングセンターを中心に、日常生活の中で身近にスポーツを楽しめる環境づくりや、スポーツ団体の育成に努めました。

◇学校開放事業

ママさんバレーボール、剣道、バドミントンなど、多くの町民が気軽にスポーツを楽しめるよう、幕別小学校、札内東中学校など七校の体育館を開放しています。

◇スポーツ教室の開設

広く町民にスポーツを普及するために、スポーツ教室を開設しました。水泳教室、体力づくり教室などに百四十人が参加しました。◇農業者トレーニングセンターの管理運営

五十八年十月にオープンしたトレーニングセンターは、多くの町民に利用されています。本年度は(六十年四月〜十二月)四万一千三



トレセンでミニバレーボールを楽しむお母さんたち

百人が利用しました。一日平均すると百七十七人になります。トレーニングセンターの管理・運営費は、本年度は一千二百四十万円になる見込みです。

◇社会体育施設の整備・補修

安全で楽しくスポーツができるように、施設の整備・補修を行いました。本年度は、町営球場の整備を百万円で行いました。

◇社会体育関係団体への補助

十七団体、一千八百四十人が加盟している体育連盟に百万円、二十九団体、一千六百八十名が加盟しているスポーツ少年団本部に三十八万円の補助金を交付しました。(終わり)



大歓声の上だった「もちまき」。押すな押すなの大盛況

寒さなんが 吹き飛ばせ

第四回冬まつり

第四回まくべつ冬まつりが二月八、九日の両日、運動公園で開かれました。会場には町民が職場・団体ごとに作成した二十あまりの雪像が立ち並びました。

八日は前夜祭で、カラオケ予選会や打ち上げ花火が行われました。九日には、綱引き大会やウルトラクイズ、宝さがし、もちまきなど、多彩なアトラクションが行われ、歓声が広がっていました。



小学生による綱引き。女性陣の力強さが目立ちました



技能士会の人たちの力作は幕別温泉ホテルのマスコット「マック君」



シバルの夜はたき火のそばが特等席(前夜祭)



ついたあとは食べるのを楽しみにしてベタンベタン

滑り台



子供たちの人気はなんといっても



カラオケ大会で優勝した
橋本恒市さん(札内桂町)

西幕別青年会乳牛プロジェクトチーム

全道青年 農業者会議 優秀賞を受彰

道と道四日クラブ連絡協議会主催の「六十年北海道青年農業者会議」が二月四、五日に札幌・自治会館で開かれ、プロジェクト発表の畜産部門で西幕別青年会プロジェクトチーム（リーダー・伊東謙二さん、日新）が優秀賞を受彰しました。

この会議は、地域農業の担い手としての農業青年が一同に会して、日頃の成果を発表するもので、畜産部門、畑作・園芸部門など五部門に全道十四支庁の代表が参加し

ました。西幕別青年会乳牛プロジェクトチームは、一月に鹿追町で行われた「十勝支庁管内青年農業者会議」のプロジェクト発表の畜産部門で最優秀賞に輝き、十勝の代表として全道大会に出場したものです。

同プロジェクトチームが発表したテーマは「高能力牛における種雄牛の影響について」で、種雄牛などの遺伝的な面からの産乳量との関係について研究したものです。同プロジェクトチームは、自分

たちの経営内容を診断した結果、乳牛部門の収益が少ないことから、昭和五十三年に西幕別地区の農業青年八人が集まって結成されました。以来、毎年乳牛関係の調査・研究を続け、昨年も全道青年農業者会議で、全道模範農村青少年農業研究集団として知事表彰を受けています。



林町長に報告をするプロジェクトチームの代表者たち

毎年の調査・研究は忙しい農作業の中で大変ですが、地域の人たちにも好評で、経営向上の資料としてや、意識の啓発にも役立っているとのこと、これからは毎年続けていくとのことでした。

同プロジェクトチームは、二月二十七日から東京で行われる「全国青年農業者会議」にも北海道の代表として出席することになっています。



杉山 美司子さん
(寿町88)

▼町農業共済組合▲

独身生活をエンジョイ

ここに勤めてもうすぐ丸四年になります。家畜診療所で事務を担当していますが、みんないい人ばかりで、明るくて楽しい雰囲気の職場です。

毎週2回、明野ヶ丘スキー場のスキー学校に通っています。早くうまくなりたいですね。今年はどこか旅行をしたいと思っています。あと2～3年は独身生活を楽しまたいですね。

こんにちは 11

利用客二百万人を達成

国民宿舎幕別温泉ホテル

国民宿舎幕別温泉ホテルが二月十五日午後四時四十五分に、宿泊、日帰り利用客通算三百万人を達成しました。

同温泉ホテルは、昭和四十三年十二月に、道内最大規模の国民宿舎としてオープンしました。五十八年三月には日帰り客通算二百万人、同八月には宿泊客通算五十万人を達成しています。

今回、三百万人目の幸運を手にしたのは、稲毛宏巨さん（帯広市・四十六歳・公務員）で、幕別中学校八期生の同期会に出席



左から伊藤さん、稲毛さん、会田さん

会田昭三さん（池田町・五十七歳・教員）が射止め、それぞれ記念品が贈られました。

また、幕別町が今年開基九十年を迎えることから、三百万九千人目の工藤幸子さん（帯広市・三十二歳・主婦）にも記念品が贈られました。

また、同温泉ホテルでは、三百万人達成日時当てクイズを実施していましたが、三百八十八名の応募の中から、二月十五日午後四時四十五分をピタリと当てた仲上尚子さん（清水町・二十二歳・公務員）に記念品が贈られました。

三百万人目の稲毛さんと、前後賞の伊藤さん、会田さんの三人は、二月二十三日に同温泉ホテルの一日支配人を委嘱され、無事職務を遂行し、幸運を射止めた感慨を新たにしています。



3,000,090人目の工藤さん

見事なハンドルさばきを披露



第二回スノータイヤラリーが二月十六日、軍岡で開催されました。一千四百回を走破するレースに三十台の車が出場し、見事なハンドルさばきを見せていました。



木札を前に白熱した対戦

2月9日、全町下の旬カルタ大会が町民会館で開催されました。この大会は昭和38年から始められた伝統ある大会で今年が23回目。この日は小・中学生を含む23組69人が参加し白熱した対戦をくりひろげました。



海外研修交流会(木村正夫会長)が畜大留学生のガオナ夫妻を招いての「パラグアイの交歓の夕べ」が2月11日、町民会館で開かれました。パラグアイ料理を主婦35人が指導を受けた後、料理を食べながら、遠い南米の国との交歓を深めました。



南米の国が身近になりました

58人がプロ顔負けの熱唱



「第一回チャリティ・カラオケ大会の集い」が幕別地区四つの同好会の合同主催で二月一日町民会館地下大ホールで開催されました。素人とは思えない熱唱に約六百人の観衆は四時間にわたるステージを楽しみました。

ぼくらの学校 (12)



あいざわとしゆき
相沢寿志君
(6年生)

新しい校舎でとても快適です

ぼくたちの学校は、幕別町の南端にある小さな学校です。校舎は、昨年の十二月に完成し、三学期から使用を始めました。新しい設備、広い廊下と体育館、そして明るく暖かい教室でとても快適です。全校児童は三十二人で、学級数は三学級です。児童会では、いろいろな活動にとりくんでいます。一年間に十一回の集会活動があり、特に七夕集会和クリスマス集会は全校児童が楽しみにしている集会です。毎年行われる行事は、郷土見学学習、親子キャンプ(五・六年生が全て食事の準備)、バス学習(全校で広尾海岸へ)などがあります。



- ◆駒島小学校
- ◆阿部 守校長
- ◆児童数 三十二人

今、ぼくたちがとりくんでいるのは、全校の縦割り班をつくり、各班ごとに、「駒島の開拓の歴史」「昔の遊びと文化」「駒島の農業の歴史」などのふる里学習をしています。

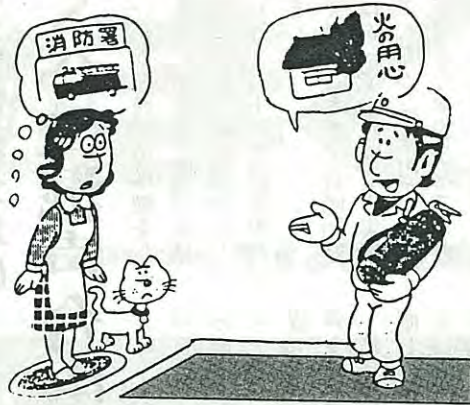
このふる里学習の成果を三月に行われる学芸会に発表しよう、どの班もがんばっています。来年は、おじいちゃんやおばあ



楽しかったバス学習(広尾海岸)

ちゃんたちに、昔のことを聞いたりすることも考えています。少しでも駒島のように切にしていきたいと思っています。新しい学校で勉強や運動にがんばっています。(おわり)

★ みんなの 声



ません。

が消火器の販売をするようなことは行って

置が義務づけられてはいる、お隣りも購入した」とセールスマンに言われ、消火器を購入しましたが本当

「設置が義務づけられてはいる、お隣りも購入した」とセールスマンに言われ、消火器を購入しましたが本当

各家庭が火災に対する備えをする

クーリング・オフの制度があります

■お答えします

(四十六歳 主婦)

対処したらよいのでしょうか。

悪徳商法に対処するには…

町に対するご意見や質問などがありましたら、お寄せください。出来事や体験などでも結構です。投書には住所・氏名をお忘れなく。匿名ですと返答をお伝えするにも連絡のしようがなくて困ります。広報紙に掲載し添えたい場合は、匿名希望とお書き添えいただけますし、秘密は守ります。■あて先……本町130番地 総務部企画調整課広報広聴

ところが、あたかも公的機関や地域の組織からの訪問を装い、名をかたって販売する「かたり商法」が後を断ちません。後になって気づいても口頭説明が困難だったり、交渉期間が長びき、わずらわしいなどで結局そのままにしてしまうケースが多いようです。

公的機関をかたるものに郵便局をかたった表札の訪問販売や保健所を装った衛生用品の販売などがあります。

町が関係する商品斡施(例えばゴミ焼却炉や除草剤など)は町の「おしらせ」広報を通じて、公区単位などで申し込みをいただいております。訪問販売に類した行為はしておりません。公的機関をかたって購入を勧められた時には、まずその機関に確認することが必要です。

最近の販売方法は以前に比べて多様化し複雑化しています。トラブルになりやすいものに、商品を手にとつて見ることが出来ないことからトラブルになる通信販売・ネズミ講を組み合わせた商品を販売するマルチ商法・購入申し込みをしないのに一方的に商品が届き代金を請求されるネガティブ・オプション・新製品の普及や説明会の名目で販売するSF商法・路上で話しかけ販売するキャッチ商法・疑わしい資格を売る士(さむらい)商法などトラブルになる可能性があります。販売方法が多くなっています。

被害にあわないように気をつけるには、まず本当に必要なものかを考え、購入意思のない時には初めからきっぱり断わることで、契約の内容を明示した書面を受け取ることで、即金払いをしないことです。即金払いをしない理由は、一度購入契約をしたものを解除できるかどうかは、クーリング・オフが適用されるかどうかのポイントになるからです。

クーリング・オフとは訪問販売で売買契約の申し込みや契約が結ばれた日を含め、一定期間内であれば無条件で撤回・解除が出来る制度です。期間は七日以内となつていますが代金を全額支払つていないことが条件ですので、万が一契約しても全額支払わず解約の権利を残しておくことが必要なのです。なお、クーリング・オフは必ず書面で行わなければなりません。その際、内容証明、配達証明の郵便で出すと確実です。要は解除の通知を発信したという証拠を残すことです。ただし、化粧品や健康食品などの消耗品で使ったり消費するとクーリング・オフが出来なくなる場合がありますし、乗用車や通信販売にはこのクーリングの制度はありません。訪問販売などはこの制度を設けなければならぬほど、消費者に不利な取引です。

うまい話には用心することです。(経済部開発商工課労政係)

新町民登場



佐々木美代子さん(29歳) 札内あかしま町61

札内の図書室の蔵書充実を

昨年九月、結婚のため置戸町から転入してきました。置戸町は農林業が中心の町で、周りが山で囲まれているせいか、冬の寒さはこちらより厳しかったような気がします。置戸町といえば、人間ばん馬、綱引き、置戸クラフトなどが有名ですが、図書の間民一人当たりの貸出数が日本一でもあるんです。私も読書が趣味なのですが、札内の図書室は蔵書が少ないので、もう少し充実してほしいですね。こちらは広々として気持ちがいいですし、日高山脈がきれいですね。幕別温泉ホテルにはよく入浴に行つてます。幕別町のことはまだよく知りませんが、町の施設を見学したり、サークル活動に参加したりして、一日も早く地域に溶け込みたいです。

うたう喜びを地域に

まくべつ混声合唱団が設立

昨年十一月から設立の準備をしていた「まくべつ混声合唱団」の結団式が、二月七日、札内福祉センターで行われ、五十人の団員が門出を祝いました。

幕別町では、これまで合唱団結成の動きはあってもなかなか実現しませんでした。清水町の第九合唱団に幕別から参加した二人の主婦を中心に「幕別にも合唱団を」

という気運が盛り上がり、昨年十一月二十二日に第一回結成準備会が開かれました。以来、八回のミーティングを重ね、一月十五日の成人式にも出演し、さわやかな歌声を披露しました。

結団式は町歌をピアノ伴奏で合唱して始まり、昨年十二月に死去された結成準備会メンバーの石田勝市さんに黙とうをささげました。



結団式でさわやかな歌声を披露した合唱団

団長の吉村学さん（札内北町）が「世界にたった一つしかないすば

ひと

⑫

多くの人がサケに関心を

十勝サーモンパーク
懇話会副座長

小尾 公一さん

(本町124・37歳)

十勝川に遡るサケとの触れ合いをテーマに、文化、観光、レクリエーションの拠点づくりを実現させ地域の活性化を図ることを目的とした「十勝サーモンパーク懇話会」が誕生しました。その会の副座長が小尾公一さんです。

「この会には十勝商工会青年部長として参加しました。

サーモンパークとは十勝の観光を考えることから始まったもので、いままでは町村ごとに観光を考えたり村一品でしたが、これから十勝全域の観光・多村一品でなければと考えた時、

十勝の共通のイメージにサーモン（サケ）が浮かんで来たのです。観光を点から線に移すのですから（パーク）というよりはエリア（地域）といった方がわかりやすいかも知れませんね」

「一月に出来たばかりの会です。で、これからはサケに関する研究や研修を進め、皆さんにもサケに関心をもっといただきたいと思っています。今、サーモンパークの標語を募集しています。たくさんの方が応募してくればと願っています」

昭和二十四年に幕別に生まれ現在三代目として酒店を経営。母親と奥さん、子供二人の五人暮らし。

らしい楽器を使い、地域に根ざした合唱団を作っていきます」とあいさつをし、結団式終了後には、祝賀パーティーが行われ、団員相互の親睦を図りました。

合唱団の練習は、毎週金曜日の夜七時から札内福祉センターで行なっています。同合唱団では団員を募集中で、全員の初心者の方でもかまわないとのことです。入団希望者は、練習日に直接会場に行くか、同合唱団の事務局長・勝山由利子さん（☎56-2711）まで連絡してほしいとのことです。

「寄付ありがとうございます」

■町へ：

▽大平洋建設工業労働組合帯広支部から青葉保育所へひな人形一式

■社会福祉協議会へ：

- ▽西田公さん（緑町）から二万円
- ▽前川明弘さん（札内春日町）から二万円
- ▽役場車両センター職員一同から一万二千四百二十八円
- ▽第一回チャリティー幕別町カラオケ会一同より十二万円
- ▽渡辺茂雄さん（相川）から三万円
- ▽長坂純一さん（札幌市）から一万円

■老人クラブへ：

- ▽明野、新川、大豊長寿会へ東原武夫さん（明野）から一万円、久保貢さん（同）から一万円、北原喜市郎さん（同）から五千元、加藤照正さん（同）から五千元、平井繁雄さん（新川）から一万円、坂本博さ

熊田昭男さんから町へ百万円の寄付



林町長へ手渡す熊田昭男さん

熊田昭男さん（途別）から「交通安全と社会教育活動に役立ててください」と、町へ百万円の寄付がありました。